

2008年4月15日

ニュースリリース
(報道関係者各位)

株式会社ロケーションバリュー
代表取締役 砂川 大

ロケーションバリューがソフトバンクと資本提携

= 位置情報を活用した携帯サービスを共同で開発・展開 =

株式会社ロケーションバリュー(本社:千代田区内神田・社長:砂川大・以下、ロケーションバリュー)とソフトバンク株式会社(本社:港区東新橋・社長:孫正義・以下、ソフトバンク)は、ロケーションバリューがもつ位置情報サービスのノウハウを生かして、携帯電話向け位置情報サービスを共同開発・展開することを前提に資本提携いたしました。

【提携の目的】

米 ABI Research 社が「携帯機器向け位置情報サービスの世界売上高は 2013 年に(現在の 26 倍の)133 億米ドルに」と予測するように、携帯端末の位置情報サービスのニーズは非常に高まっています。ロケーションバリューは位置情報サービスのパイオニアとしてのノウハウを最大限に生かし、より利便性の高いサービスを展開するために、携帯電話キャリアとの連携を模索してきました。こうした中、ロケーションバリューとソフトバンクは、共同して位置情報サービスを開発・展開していくことが双方の利益に資するという認識で一致し、業務提携を前提とした資本提携を行いました。

今回の提携は特に、キャリアとサービス・プロバイダの壁を越え、共同してエンドユーザーの利便性を追及した既成概念を打ち破る新サービスを世の中に提供していくことを目的としています。ロケーションバリューにとって今回の提携は、昨年 5 月の株式会社リクルート、三菱商事株式会社、株式会社ぐるなびとの資本提携に続くものであり、こうした提携関係もソフトバンクとの提携により、さらなる相乗効果を生むことが期待されます。ただし、ロケーションバリューは、コンシューマ向けサービスについては、引き続きキャリアを問わず位置情報サービスを提供していきます。

【提携の方法】

ロケーションバリューの株主が所有する一部の株式をソフトバンクが譲り受け、加えてソフトバンクを引受先とする第三者割当をロケーションバリューが実施することにより、ソフトバンクがロケーションバリューの発行済株式の 38%を取得します。

【ロケーションバリューの概要】

会社名： 株式会社ロケーションバリュー
事業内容： 携帯電話の位置情報を利用した各種サービスの企画・開発・運営
本社所在地： 東京都千代田区内神田 1-12-3 翔和内神田ビル 4 階
設立年月日： 2005 年 3 月 16 日
資本金： 4 億 6615 万円
従業員数： 20 名(アルバイトを含む)
代表者： 砂川 大

【ロケーションバリューの運営する「おてつだいネットワークス」の概要】

「おてつだいネットワークス」とは作業依頼者の近くで「今ヒマ」と宣言している人を、携帯電話の位置情報(GPS等)を活用して検索し、作業を依頼することができるリアルタイム労働市場です。少子高齢化が進み労働力人口がこの20年で1000万人減少すると言われている中で、従来使われて来なかった「細切れの労働力」を必要な時だけ提供することで労働力不足を補うというモデルです。2006年4月のサービス開始以降、飲食業や小売店、中小企業をはじめとする多くの事業者に新しい雇用方法として利用されており、ユーザー数も7万2千人を超え急増しています。

*「おてつだいネットワークス」は、ロケーションバリューの登録商標です。

この資料に関するお問合せ先

株式会社ロケーションバリュー 担当 関東(かんとう)

TEL:03-5217-2232 FAX:03-5217-2236

電子メール:press@locationvalue.com URL:<http://www.locationvalue.com/>